

落ち葉から、堆肥/菜園/ガーデニング

ベランダでできるダンボール箱利用の堆肥づくり

腐葉土、米ヌカ、もみがらクン炭をまぜて、ヌカ床のようにして、生ごみを入れる 初心者でも「好気性発酵」(水分50~60%)がしやすく、発酵熱によって水蒸気がよく出て、カサがふえないので、庭がなくてもできます

生ごみがやっかいなのは「嫌気性の腐敗」になって、強烈な悪臭が出てくるため。ダンボール堆肥だと、順調に「好気性発酵」がすすむため、臭いがとても少ない。さらに「新聞紙」が少ない臭いを防いでくれます。



準備する物

ダンボール(40×35×30)cm程度
少人数家庭(10kg みかん箱でOK)
腐葉土、米ヌカ、もみがらクン炭
新聞紙、角材

作り方

- 1) 箱の底にダンボールの紙を切ったもの2枚か新聞紙2日分を敷く。
- 2) 10kgのみかん箱の場合
腐葉土 2.5kg、米ヌカ1kg、モミガラクン炭 500gをめやすに箱の5~6分目ぐらいに調整して、混ぜる(残りは保管しておく)
- 3) 底からも水蒸気がたくさん出るので、高くするために、角材などを置いて、その上に置く。
- 4) 生ごみは、早く発酵させ、虫を呼びにくくするため、なるべく細かく切って入れる。生魚のアラ、生肉などは、発酵でも悪臭に近い臭いがするので、これだけは避けた方が良い。「好気性発酵」させるには、水分50~60%に保つ。
- 5) 発酵のはじめに出る気体に虫がよばれてくるので、新聞紙を中ブタのようにかぶせる。
- 6) フタの上にもうひとつのダンボール箱でかんたんなフタをガムテープで貼ってつくと風でもとばないのでよい。持ち手の穴が開いている場合は、内側からガムテープでふさぐ。



ワンポイント

雨がかからない所に置く。暑い時期は米ヌカは入れなくてもよい。発酵の温度をあげるためには、てんぷら廃油を1日大さじ5~6杯ぐらい入れかきまぜる。温度が上がらなければ、数日間入れ続ける。発酵熱が出てくるまでは、酸素にさらさず、かき混ぜ過ぎないようにし、新聞紙を厚めにかける。(特に寒い季節は、新聞紙や毛布で保温する。発酵の始めに出る気体に虫が寄ってくるので、新聞紙を中ブタのようにかぶせる。温度が下がったら米ヌカ 200gまたは天ぷら廃油を入れ、水分が足りない時は、米のとぎ汁を入れる。

ダンボール堆肥の詳しい説明は資源循環委員会ホームページをご覧ください！

http://3098.pr.arena.ne.jp/ecorisa/sogo_new/sigen/nama_ochiba/3-1-e.pdf

プランター1個からすぐできる 落ち葉を使ったプチ菜園

落葉は焼却しないで、活かしたいものです。堆肥にするための場所がない、とあきらめる必要はありません。秋に落ちた落ち葉を使って植木鉢やプランターで、栽培が始められる方法があります。その人の条件に合わせて少量の落葉からすぐ利用できます。

植木鉢やプランターで、野菜などを栽培しようというとき、土がない場合は買ってくる必要があります。落ち葉を使うこの方法だと土の量が半分で済むので経済的であり、土よりかなり軽いので、ベランダにも置きやすく、持ち運びもラク。

生ごみ堆肥との組み合わせで、肥料としてのバランスもとれ、さらにごみ減量となります。



小宮山洋夫(なみお)さんの方式

小宮山さんは東京都心の屋上で、20年以上落ち葉と油粕と少量の土だけで、60種類以上の野菜を作ってきたそうです。

作り方

- 1) プランター、植木鉢などに、油粕か生ごみ堆肥を少量ずつ混ぜながら落ち葉(針葉樹とイチヨウの葉以外)をギッシリ詰める。ギュウギュウに詰めるとかなりの量が入る。
- 2) 黒土を一番上に3~4センチ乗せ水を撒き、種を蒔くか、苗を植える。(しばらく寝かせておいても良い)
- 3) 下に詰めた落葉は雨などの水分を含んで、発酵し、だんだんへこんでくる。とっておいた落葉を表面をおおうようにのせていく。生ごみ堆肥または油粕を少しずつ混ぜ合わせる。追肥となる。

我家の三坪菜園

瓦礫や砂利が多いので直植え出来るスペースが少なく、作物が育たなかったのですが、小宮山方式を知り中古プランターでの菜園作りを始めました。油粕ではなく、微生物の力を利用したダンボール箱生ごみ堆肥を混ぜています。無農薬です。プランター・プチ菜園での、お勧めは「細ネギ」。根付き細ネギの下の部分2センチぐらいを残して切り、土に差し込んでおくと、新しく伸びて、食べられるようになります。その他「みつば」

「ニラ」も OK!
「パセリ」は根が深く張るので、深めの鉢を!
志木市 S さん



生ごみ堆肥でガーデニング・野菜づくりを楽しもう!



《化学肥料を使わず生ごみ堆肥でつくると》

- ①土が柔らかく、水はけと水持ちが良くなる 雑草が抜きやすい
- ②ミズが増えてくる ミズは良い土づくりをすすめてくれる
- ③発芽率もよくなる 作物はかた太りで、勢いがある
- ④作物は香りがあり、柔らかく甘みがあっておいしい

《農薬、殺虫剤を使わないと》

- ①かた太りの勢いのある作物には虫は余りつかない
- ②農薬などを使わない庭、畑には天敵が増えてきて、虫害はさほどひどくならない
- ③主な益虫・・・てんとう虫、カマキリ、クモ

プチ菜園・我家の三坪菜園 http://3098.pr.arena.ne.jp/ecorisa/sogo_new/sigen/nama_ochiba/3-1-f.pdf

野菜づくりを楽しもう! http://3098.pr.arena.ne.jp/ecorisa/sogo_new/sigen/nama_ochiba/3-1-g.pdf